



吹田市立千里第二小学校 学校だより  
令和4年(2022年) 2月 特別号

学校教育目標 豊かな心を持ち、たくましく生きる力を身につけ、  
主体的に行動する子どもの育成 —自主協同—

## 学校教育自己診断の結果と考察

早春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は本校の教育活動にご理解、ご協力いただき、ありがとうございます。

さて、保護者の皆様にご協力いただいた『学校教育アンケート』の集計および結果の整理を行いました。児童アンケートについても同様に、調査結果の分析を行いました。それらをもとに下記の通り報告いたします。今後の学校教育に生かしていきたいと存じます。

### ○保護者のアンケートから

#### <教育活動に関すること(学級または学年)>

「子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。」等、日々の教育活動に関する項目のほとんどは、80%以上の方から肯定的な評価をいただいておりますが、新型コロナウイルスに対する不安やコミュニケーション不足など、今後注意深く子ども達を見ていくとともに、学習や活動の中で、子ども達同士を繋げていく機会を増やしていきたいと思っております。また、「子どもは、授業が楽しくわかりやすいと言っている。」に対する肯定的な評価は、昨年度より3ポイント低い結果となりました。コロナ禍における欠席や進度の差なども原因の一つと思われれます。教材準備はもちろんのこと体験学習やICTの活用など授業の内容を豊かなものにするとともに、子どもたちが自分の考えを聞いたり話したりする時間を持つように努めていきます。さらに、「先生は、いじめのない学級作りに取り組んでいる。」では、79%が肯定的な評価となりましたが、昨年度より3ポイント低くなっています。昨年度より「いじめ予防授業」の取組を始めています。指導内容についてもさらに改善を図り、明るく楽しい学校を目指して取り組みを進めていきたいと思っております。また、個々の子どもの様子をよく見て、この数値をより100%に近づけられるように努めていきます。

#### <保護者ご自身に関すること(学級または学年)>

「子どもの学校での生活について、話す時間を持つようにしている。」では、91%以上が肯定的な評価となっています。いま子どもたちが学んでいる内容に関心を持ってご家庭で振り返っていただいているのはありがたいことと存じます。

「担任の先生の教育方針について理解している。」では、肯定的な評価は67%と低くなっています。今年度は参観については1学期、2学期に実施することができましたが、学級懇談については実施ができませんでした。来年度は懇談等の機会をできるだけもち、担任や学年としての方針をわかりやすくお伝えするように努めていきます。

#### <学校教育活動・学校経営に関すること(学校)>

「学校は、保護者が授業を参観する機会を適切に設けている。」についての肯定的な評価は1ポイント高くなっていますが、「学校では、保護者と話をする機会を多く持っている。」に肯定的な評価は昨年度から9ポイントも低い結果となりました。

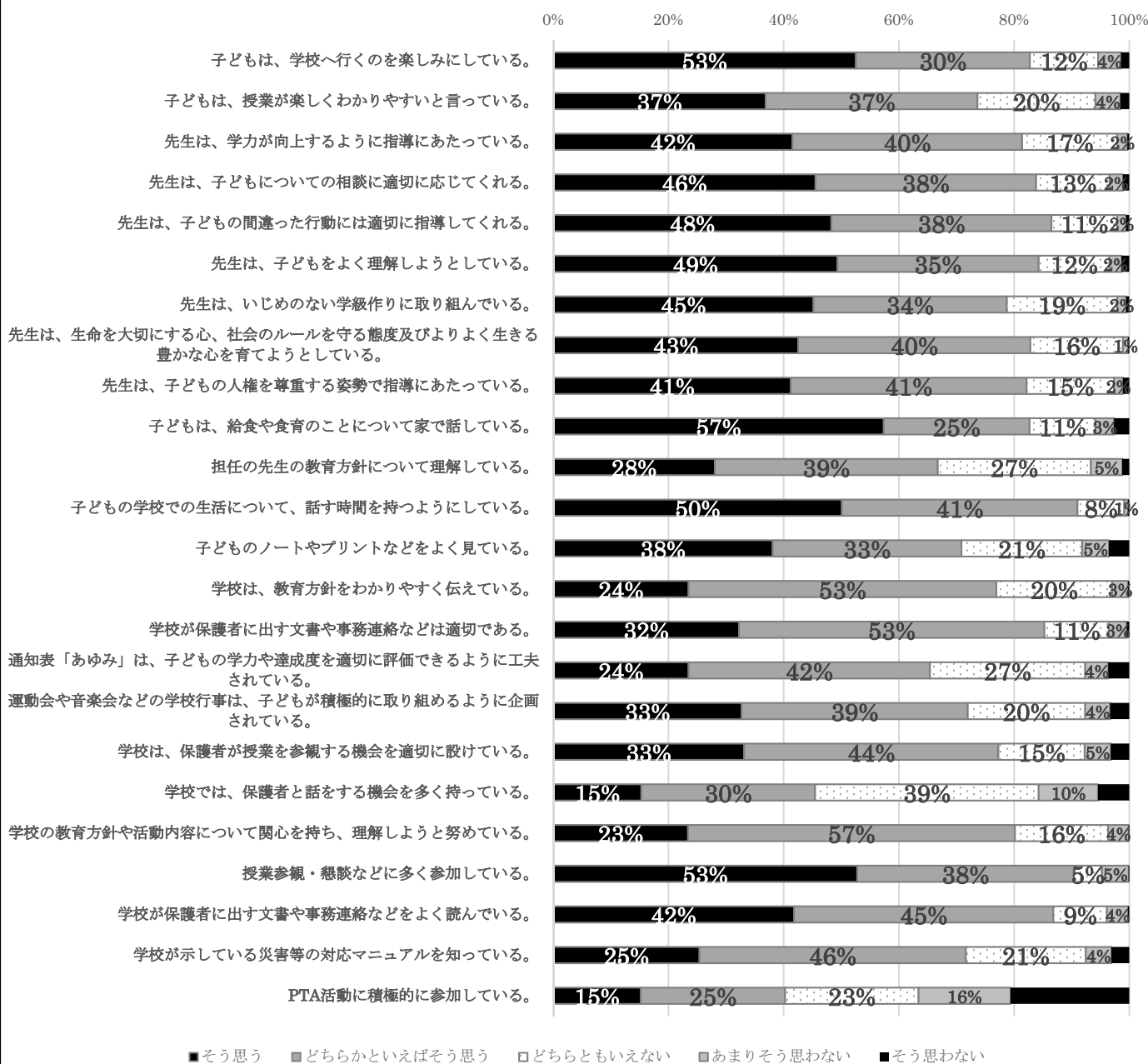
個人懇談や電話等で子ども達の様子を積極的にお伝えしていますが、直接お会いしてお話する機会がほとんどとれず、また学級全体での学級懇談会も実施できず、学級全体の児童の様子や成長をお伝えすることができませんでした。繰り返しになりますが、来年度は形を工夫しながら懇談についてもできる限り実施していきたいと思っております。

通知表「あゆみ」は昨年度より、新しい教育課程のスタートに合わせて、観点別の様式に変えています。通知表「あゆみ」は、子どもの学力や達成度を適切に評価できるように工夫されている。」に肯定的な評価は昨年度から5ポイント下がり、65%となりました。学年だよりや学級懇談会等において、評価の判断基準などをより具体的に分かりやすくお伝えするように努めていきます。

#### <保護者ご自身に関すること(学校)>

「学校が保護者に出す文書や事務連絡などをよく読んでいる。」に87%の方が肯定的な評価でした。

また、「学校が示している災害時の対応マニュアルを知っている。」は、昨年度肯定的な評価は大きく上がりましたが、今年度は72%に下がっています。ホームページにも常時掲載しておりますので、さらに周知徹底を図り、100%となるよう取り組んでいきます。今後とも、学校ホームページやミマモルメ等を通して、必要な情報を広くお伝えしていきます。



○児童のアンケートから

「学校へ行くのがたのしい」への肯定的な回答が低学年では72%、高学年では65%となっており、それぞれ昨年度より2ポイント低くなっています。今年度についてもコロナ感染症や人間関係づくり、学級、家庭、学習などへの不安や悩みは多岐にわたっています。子ども達との関わりを深め、一人ひとりが楽しいと思える学校になるよう、一つひとつの課題に対して丁寧に対応していきたいと思えます。

授業のわかりやすさについて、「授業はわかりやすい。」での肯定的な評価は、低学年71%で6ポイント高くなり、高学年は66%にとどまりました。今年度は、学級閉鎖も多く、不安や風邪症状などによる欠席も多くなり、落ち着かない毎日を過ごしている児童も少なくなかったと思えます。そんな中でも、オンラインを活用した学習を少しずつ取り入れることで、安心して過ごすことができた児童もいたと思えます。さらに環境を整え、柔軟に対応できるようにしていきたいと思えます。

授業に関して、低学年では「授業で自分の考えを伝えたり、友だちの考えを聞いたりすることがある。」に肯定的な評価が86%となり、8ポイント上がっています。このような活動を効果的に授業に取り入れながら、よりわかりやすく、納得感のある授業にしていきたいと考えています。

また、低学年での「たんじんの先生は、わたしたちの話をよく聞いてくれる。」に対する肯定的な回答が87%あるのに対し、高学年になると「担任の先生は、自分が努力したことを認めてくれる。」に対する肯定的な回答が71%と少なくなっています。また、低学年において「わからないことがあるとき、たんじんの先生によくたずねる」に対する肯定的な回答が73%で5ポイント高くなりました。高学年は専科などで多くの先生が関わっていますが、「担任の先生のほかに、気軽に相談することのできる先生がいる。」に肯定的な回答が54%となり、昨年度よりも10ポイントと大幅に高くなっています。まだまだ高い数値とは言えませんが、学級担任だけではなく、学年の先生さらには専科の先生など、より多くの目で子ども

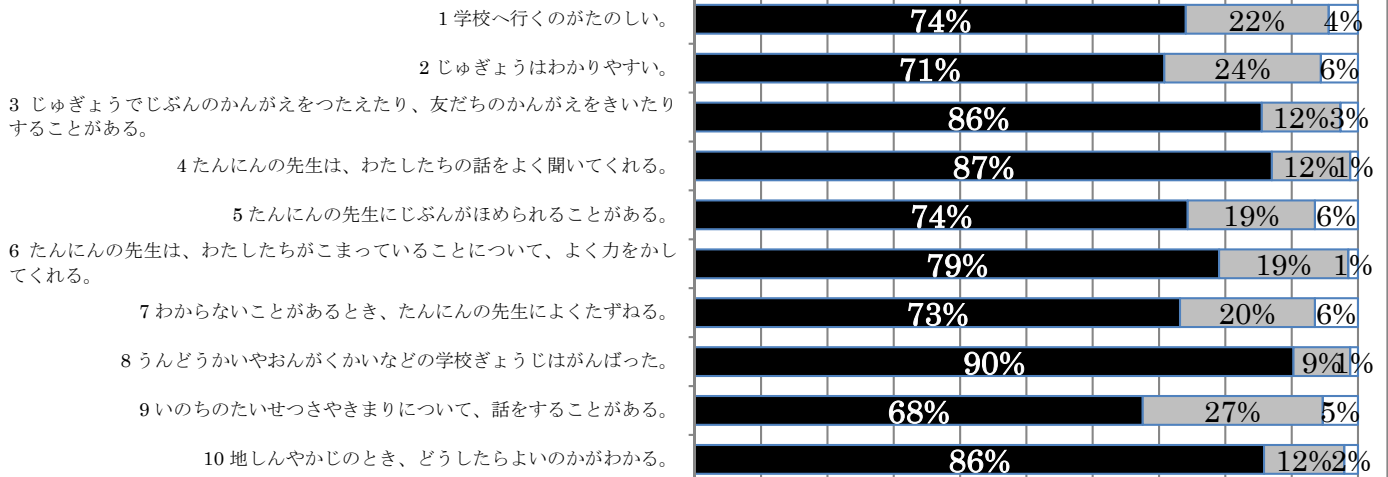
達の成長を見守っていきたいと思います。

運動会などの学校行事については、低学年では90%、高学年では85%の子どもたちが、自分自身が頑張って取り組むことができたと答えています。多くの行事を見送る年となりましたが、来年度は少しずつできることから再開し、子ども達が活躍できる機会を増やしていきたいと思います。

「地震や火災などが起こった時、どうしたらよいかわかっている。」については、低学年・高学年とも肯定的な回答が80%を超えてはいますが、新校舎も完成したことで避難方法も変更となりますので、改めて子ども達に指導し防災意識を高めていきたいと思います。

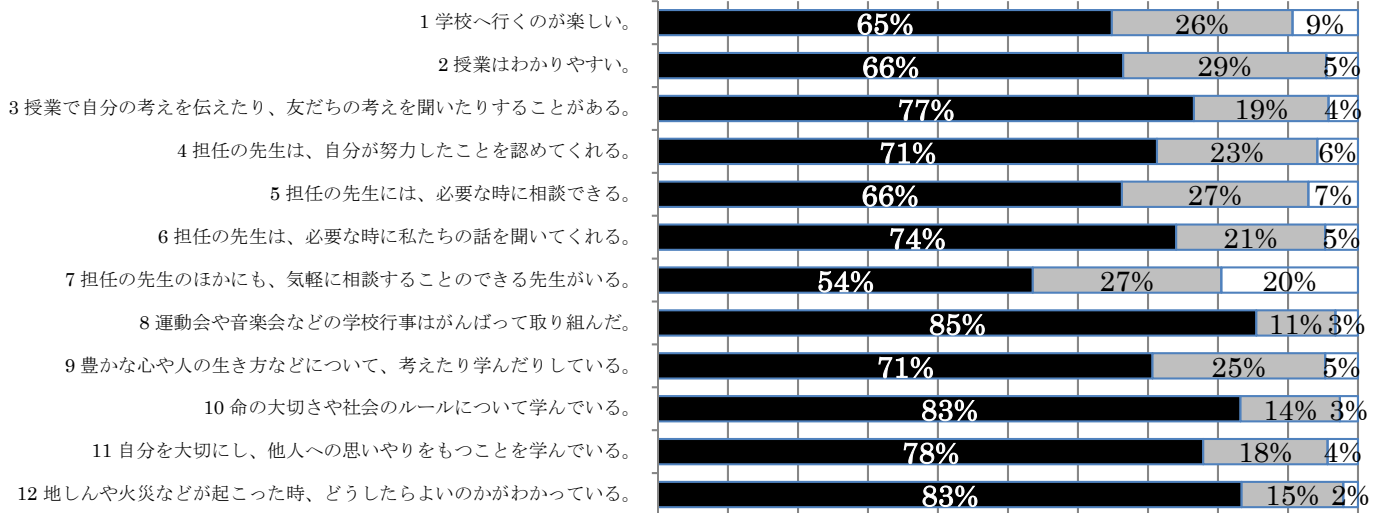
### 令和3年度学校教育診断アンケート集計【低学年】

■ そう思う □ どちらともいえない □ そう思わない



### 令和3年度学校教育診断アンケート集計【高学年】

■ そう思う □ どちらともいえない □ そう思わない



#### ○保護者自由記述より

自由記述にたくさんのご意見をいただきました。ありがとうございます。多かった記述内容について、今後改善できることも含めて考察しました。

#### 【学校行事について】

・コロナ禍で実施も難しいと思いますが、遠足や音楽会など行事がなく残念だった。子供たちのみの音楽会、近隣への遠足など工夫しながら実施してほしい。 ・行事の予定をもう少し早く出してほしい。

➡計画を立ててはいましたが、感染状況によりキャンセルとなった行事が多くありました。また実施が難しいと予想されることが多く、中止になることを考えると事前に予定を伝えられない行事も多くあり、連絡が直前となることも多かったと思います。また、判断の時期により実施できる学校やできない学校などもあり、子ども達や保護者の皆様には伝わりにくい面も多々あったかと思えます。新型コロナウイルス感染症に影響を受けにくい行事など、今後も工夫しながら取り組んでいきたいと思えます。

## 【児童用端末について】

- ・家庭学習や宿題、音楽などさまざまな面での活用を考えてほしい。 ・リモート学習を進めてほしい
- ・アプリやYouTubeなどの使用についてもっと制限を厳しくしてほしい
  - ➡通信やアプリなどの不具合も多く、保護者の皆様にもご協力いただきありがとうございました。環境を整えていくとともに端末の活用の幅も広げていきたいと思ひます。制限については市で一括管理されています。新しいサイトなど都度規制をかける必要があり、全てを規制するのは難しいのが現状となっています。ご理解ください。

## 【ミマモルメの活用について】

- ・配布プリントが多いので、メールの活用をしてほしい
  - ➡今年度、ミマモルメでの配信を増やしています。今後PDFファイルでの送信も増やしていく予定です。PDFファイルを保存できるようにしておいてください。また、登録されていないご家庭や携帯の交換による登録エラー（再登録が必要）などに対する個別の対応ができませんので、ご注意ください。また、関係機関からの手紙は、紙媒体なのでそのまま配布していきます。
- ・出欠の確認についてメールやアプリを使用してほしい
  - ➡今現在の環境では、各担任が朝の時間にアプリやメールを使用して出欠確認をとるのは難しい状況です。また、欠席状況によっては直接電話でお聞きしたり、学校からお伝えしたりすることもありますので、従来通りのやり方で進めていきます。今後出欠確認についてのメールやアプリの活用については、メリットやデメリットを整理しながら検討していきたいと思ひます。

## 【裏門の利用について】

1月に裏門からの登校を2回実施し、安全面やルートなど再検討しております。使用するかどうかの最終決定はまだしていません。決まり次第お伝えいたします。

## 【学級数や教職員の人数、トイレ清掃・増設について】

一クラスの児童数や教員数については、大阪府の規定によって決定されます。また、トイレの業者清掃の回数や増設については市で決められており、工事については順次進められています。学校からもよりよい環境となるよう市の方に働きかけをしていきたいと思ひます。

## 【参観・懇談について】

- ・今年のように分散した形での参観も見やすくよかった。 ・懇談等で担任の先生から学級の様子などを聞く機会がなかった。 ・学年や学級などから、子供たちの様子をもっと発信してほしい。懇談が難しいなら、学校だよりや学年だより等を使って伝えてほしい。
  - ➡学級懇談をできるだけ設定し、学校と保護者が同じ方向を向いて子ども達を育成できるようにしていきたいと思ひます。また、お便りなどで積極的に児童の様子を伝えていきたいと思ひます。

## 【運動会】

- ・人数制限があり、例年より見やすかった。このままの形で実施するのもいいと思う。 ・低学年など家で留守番という形になるのは不安 ・子ども同士の見せ合いも大切ではないか
  - ➡来年度の運動会についても新型コロナの感染状況を見ながら実施することになりますが、来年度についても従来通りの方法では実施は難しいと思われまひます。いただいた意見を参考にさせていただきます。

## 【学習について】

- ・下記の授業を積極的に進めてほしいという意見がありました。  
出前授業、自主学習、外部講師の活用、ディスカッション、キャリア教育、SNS指導、お金や税金ボランティア教育、地域交流、交通安全教育、ほめ言葉、置き勉を増やしてほしい、泳力不足の不安など
  - ➡たくさんのご意見をいただきありがとうございました。ご意見も参考にしながら、さらに児童の学習意欲が高まり、より主体的に取り組めるよう、引き続き授業研究を進めていきたいと思ひます。

## 【生活面について】

- ・あいさつができる子が減っているように感じる。マナーやしつけなど各家庭でしっかり身に付けていくべきである。
- ・相手を尊重できる子どもになってほしい。みんな違ってみんないい。
- ・食事、睡眠、運動、ゲーム、SNSなど、不審者対応、交通ルールなどへの指導
  - ➡子ども達の言葉遣いについては、改善が必要だと感じています。我々大人もよき見本となるよう気を付けながら、子ども達の言語環境を整えていきたいと思ひます。ご家庭でも声かけをお願いいたします。ゲームやスマホ、インターネット、SNSの課題は、年々深刻化しています。使うのが当たり前となりつつある今、改めて使用についてルールや制限を明確にし、しっかりと守らせていくことが大切であると考えまひます。マナーやSNSの危険性など学校でも指導していきますが、各ご家庭でも使用について常に気を付け見守りの強化をお願いいたします。

## 【その他】

- ・授業での学習の躓きがある児童への丁寧な対応
- ・コロナ禍での参観や運動会等の実施
- ・担任の先生からのこまめな連絡
- ・コロナ禍でのオンラインを活用した学習の提供
- ・子どもが楽しく学校に通えている
- ・1, 2年生のスターター(サポート)の先生の丁寧な対応
- ・思いやりのある児童の言動など
  - ➡本校の指導や運営についてのたくさんのお褒めをいただきました。ありがとうございました。